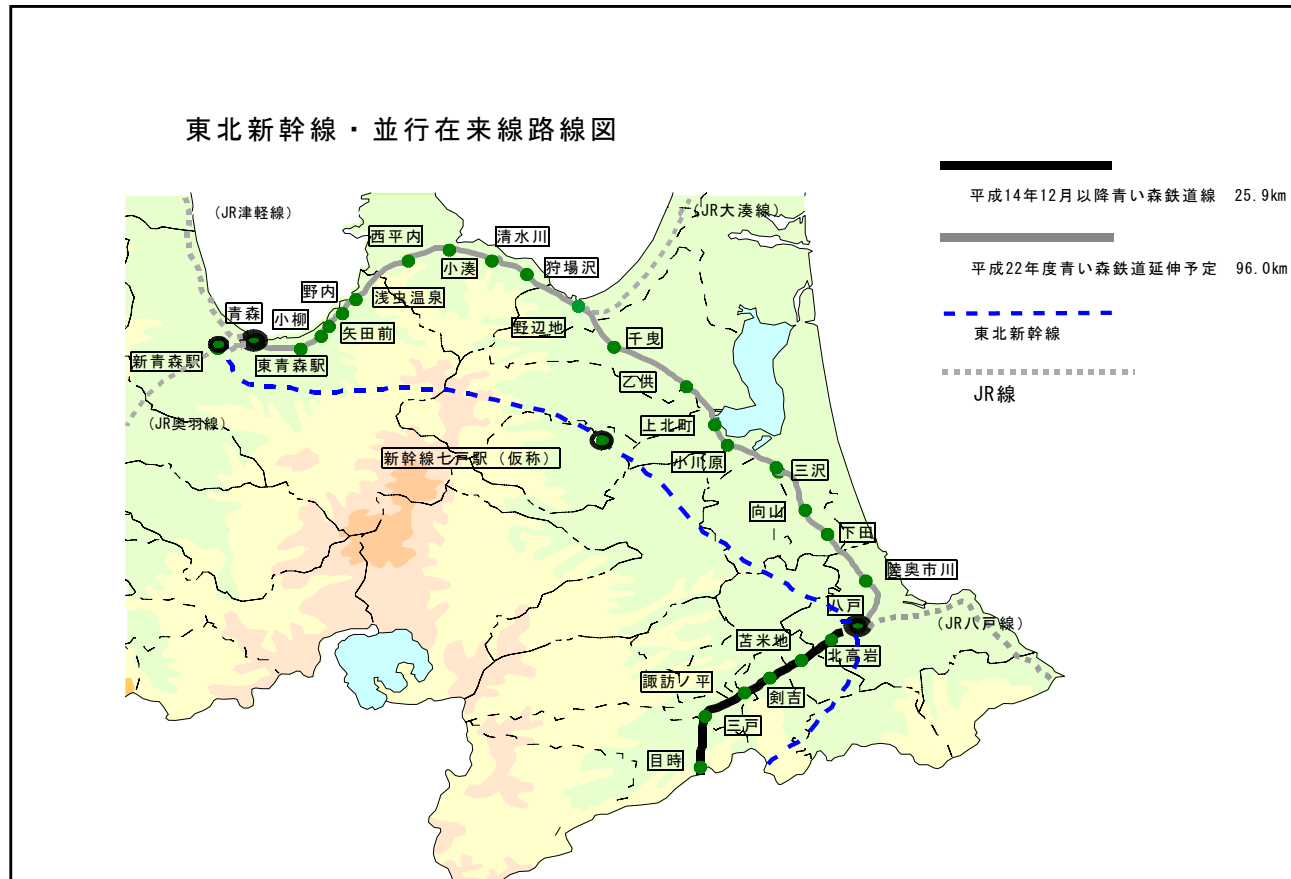


東日本旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 清野 智 殿

要 請 書



平成20年11月12日

青森県議会

並行在来線「青い森鉄道線」の維持・存続に向けて

東北新幹線八戸・新青森間の建設工事は順調に進み、県民の長年の悲願である東北新幹線新青森駅開業まであと2年を待つまでとなりました。これまでの関係者のご尽力に対し深く感謝申し上げます。

この東北新幹線新青森駅開業と同時に、現在の東北本線八戸・青森間が並行在来線として貴社から経営分離され、県と沿線自治体を始めとする地域が主体となって、「青い森鉄道線」としてその後の運営を担うこととなります。しかしながら、将来需要予測からも収益は見込めないものであり、青森開業後も青い森鉄道線の経営が厳しい状況となることは必至であります。

また、現在の地方自治体を取り巻く行財政環境は極めて厳しい状況にあります。各自治体とも懸命な行財政改革を進めていますが、さらなる地方交付税の削減により、地方の努力も限界に達しております。

このように、本県が並行在来線の経営分離に同意した当時と比べ、自治体を取り巻く行財政環境は激変しており、こうした状況の中、現在のスキームの下で並行在来線の経営分離を進めていくことはもはや困難であります。

したがって、並行在来線を運営することとなる地域の負担を大幅に軽減し、並行在来線の維持・存続が図られるよう、次の事項を重ねて強く要請いたします。

記

1. 本県の並行在来線区間は、将来も収益が見込めないものであることから、経営分離により貴社から譲渡される鉄道資産については無償譲渡とすること
2. 青い森鉄道線の運行に不要な資産は、経営分離前に解体・除却を行うとともに、貴社から譲渡される鉄道資産については事前に改修・修繕等の整備を行った上で譲渡すること
3. 寝台特急列車減便による影響が生じないように、青い森鉄道線に直通乗り入れする寝台特急列車の運行本数の増加や利用促進、並行在来線を対象とするJR企画商品の拡大・新設等を図ること
4. 青森開業準備及び青森開業後の運営のために必要なJR出向者の派遣等に協力すること

平成20年11月12日

青森県議会議長 神山久志